

American society for composites 25th Annual Technical Conference 参加報告

文責：構造工学研究室

2008 年度博士課程後期 3 年

小武内 清貴

学会詳細

参加学会： American society for composites 25th Annual Technical Conference

主催： American society for composites

日時： 2010 年 09 月 20～23 日

開催場所： Dayton Marriott

研究発表題目： Synthesization of CNT on Surface of C/C composites

by Alcohol CVD method -its effect on Coefficient of Friction Between Them

研究者および発表者： Kiyotaka Obunai

連名者： Kazuya Okubo, Toru FUJI

発表形式： Oral Presentation (20 minutes)

学会 HP： <http://asc2010.udayton.edu/default.html>

私は、今年（2010 年）09 月 20 日～23 日にデイトン（米・オハイオ）で開催された、複合材料に関する学会で自分の研究状況を発表してきました。

この学会では現在広く使われている繊維強化複合材料（FRP）の製造方法から衝撃や疲労強度、数値解析にいたるまで、多くの発表が行われました。そんな中私は、C/C 複合材料と言う材料の摩擦係数が温度によって変動するのをカーボンナノチューブを表面に生成することによって予防する手法について発表を行いました。

今回学会が開催されたデイトンはライト兄弟の生誕の地として知られ、そのため米空軍の基地（一部の人には有名かもしれないライト・パターソン空軍基地）とそこに併設された航空博物館があります。今回は忙しい学会の合間に、ライト兄弟が経営していた自転車屋さんや、上記の航空博物館を訪れることもできました。また学会では他の大学の方とも知り合うことができ、非常に有意義な経験をすることができました。

今回このような機会を与えてくださった同志社大学をはじめ、藤井教授、大窪教授および当研究室関係者にこの場をかりて御礼申し上げます。

以上、写真へ続く

写真

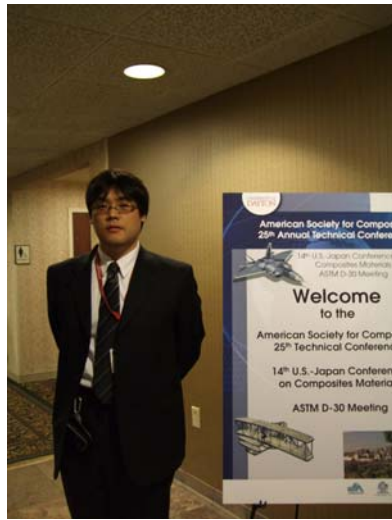


写真 1. 会場の風景



写真 2. 発表中の風景



写真 3. ライト兄弟の自転車屋



写真 4. 空軍博物館で F22 と